

「紅茶」の開発への挑戦！

活動事例紹介

八溝山麓にある須賀川地区は、本州北限の茶の産地「くろばね茶」として知られています。近年では、過疎化・高齢化のため、茶畑の荒廃が進んでいます。そこで、緑茶と加工は異なるものの、同じ茶葉を使う紅茶に注目。茶畑の復活とともに、紅茶の開発や都市農村交流などで地域興しに取り組んでいる事例を紹介します。



H24

地域活性化 構想策定

地区活性化を図るために、5回のワークショップを通じて、地域資源等の見直し、廃校の利活用検討、現状の課題整理等を行い、地元農産物を活用した地域活性化構想を策定しました。



H23

地域のお宝を 探すために！

中山間地域の特性・意義・役割等を説明し、むらづくりに取り組むための手法としてワークショップの方法や効果について、学びました。



H25

紅茶の試作

茶葉を使った新商品（紅茶）を開発し、特産品として生み出すため、紅茶の加工と商品化に向けた試作を行いました。

これまでの活動

